

学校名 熊谷市立熊谷東小学校
所在地 熊谷市末広3丁目4番1号
電話 048-521-0017

1 本校の概要

本校は開校 151 年目を迎え、伝統を大切にしながらも新しい時代に対応した教育に挑戦する 21 学級、児童数 573 人の学校である。学校教育目標「確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成」の達成に向け、読書環境の整備等、読書活動を進めている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実など学力向上に結びつけた取組

(2) 実践の概要

ア 読み聞かせの実施

年間で各学級 1 回、お話の会「虹」の方々による読み聞かせを実施。

イ 「こころのたから」の活用

熊谷市の教員が選定した推薦図書を集めた「こころのたから」カードを配付して活用している。低学年用と高学年用に分かれ、それぞれ 50 冊を読破した児童には認定書を渡している。学校図書館にはこころのたからコーナーを常設し、低学年は本をかごに入れて定期的に各学級に回し、推薦図書を手に取りやすいようにしている。

ウ 読書カードの活用

毎日の宿題として、読んだ本を記入する読書カードを使用している。低学年は 50 冊以上、高学年は 10000 ページ以上を読むことを目標として日々取り組んでいる。



エ 読書月間の取組 (11 月)

○ 図書委員による読書集会の実施

おすすめの本紹介や図書室の使い方を劇にすることで、全校の読書に関する興味を広げている。

○ ハガキ新聞作り

1 人 1 冊おすすめの本を選び、その本の紹介文を新聞形式で記入し、学級毎に掲示する。自分の本選びの参考にしてしている児童もおり、読書の幅を広げるきっかけとなっている。



オ 学校図書館を利用した授業実践

【分類をもとに本を見つけよう】(国語 4 年生)

「日本十進分類法」があることを知り、本の分類について学ぶ。図書館で実際にラベルをもとに本を探し体験をさせる。ゲーム感覚で興味をもって取り組む児童が多く、この学習がそれ以降の図書館利用に繋がっている。

【引用して話そう】(国語 6 年生)

本や新聞から心に残った言葉や写真を引用しながら、抱負や将来の夢について話す学習である。登場人物の想いや筆者が伝えたいこと、本の主題を読み取り、自分の考えとの関係がはっきりわかるところを引用して書く力が求められる。自分の経験や今後の目標等、自分自身の考えを深めている。1 冊の本から読む、書く、話すという一連の学習が言語活動の充実に繋がっている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

4 年生で分類について学んだことで、図書室でも自分で読みたい本をすぐに見つけることができるようになった。また、図書委員が全校集会で劇を行ったことで読書に関する意欲が高まっている。

補助員さんや PTA ボランティアの方々との協力で児童が読みやすい図書室の整備がされている。蔵書数も着実に増え、本に親しむ環境が整ってきている。

(2) 課題

読書をする児童としない児童の二極化がある。読書を習慣化し、さらには本を好きになっていくためには読書をする時間の確保が課題である。家庭とも連携を図りながら読書への取組を進めていく必要がある。

(3) おわりに

今後も小学生の発達段階に合わせた本を選定し、読書環境を充実させていく。児童の読書の量や質を高めていき、豊かな心の育成に努めたい。